

高齢者インフルエンザ 予防接種のお知らせ

65歳以上の方は、インフルエンザ予防接種が一部公費負担で受けられます。

接種期間／12月27日(土)まで

対象者／市に住民票がある方で、次のいずれかに該当する方

●接種日に65歳以上になる方

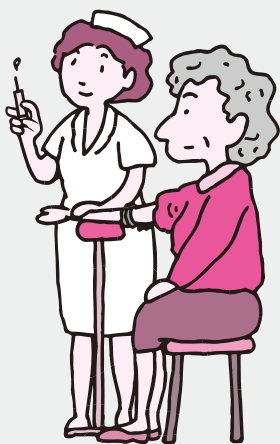
※65歳以上の方には予防接種券、予診票などを送りました。

●60歳以上65歳未満で、心臓・じん臓・呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスにより機能に障害を有する方(身体障害者手帳1級該当の方)

※該当する方は、土浦・新治保健センターに申請してください。

接種場所／協力医療機関

実施回数／1回



麻しん風しん予防接種について (中学1年生・高校3年生対象)

4月1日から5年間(平成25年3月31日まで)、中学1年生と高校3年生が麻しん風しん予防接種の定期接種対象者になりました。

対象者／

●中学1年生(平成7年4月2日～8年4月1日生まれ)
市立中学校在学の方には集団接種を実施しましたが、都合により受けていない方、市内の私立中学校や市外の中学校に通学している方は医療機関で個別接種を受けてください。

●高校3年生(平成2年4月2日～3年4月1日生まれ)
該当する方へは、4月に「予診票」を郵送しましたので、医療機関で個別接種を受けてください。

※いずれの場合も「予診票」をお持ちでない方へは郵送しますので、新治保健センターまでご連絡ください。また、接種時には保護者同伴で医療機関に行ってください。

接種期間／平成21年3月31日までに1回

※期間が過ぎた場合は、公費での接種ができなくなりますので早めに接種してください。

接種場所／市内登録医療機関

※事前に医療機関にお問い合わせください。

費用／無料

問 新治保健センター (☎862-5011)

健康教室

親知らずの話

土浦市歯科医師会
野木隆久(のぎ 歯科)

通常、永久歯は32本あります。そのうち28本は10代半ばで生えそろうますが、残りの4本はさらに後になって生えてきます。この、後になって生えてくる歯が『親知らず』です。親知らずは上下左右の一番奥にあります。生まれながらに親知らずが無い人もいます。また、大きさや形状がほかの永久歯にくらべて個人差が大きいのも特徴です。

親知らずは、ほとんどの歯が生えそろうってから出てくるので、生えるスペースが不足することがしばしばあります。歯の並びは歯が並ぶべきアゴの骨の長さ、歯の横幅の総和とのバランスに大きく左右されます。親知らずが全部ある場合、親知らずを含めた永久歯の横幅の総和が、歯の並ぶべきアゴの骨の長さより小さければ正常な位置・方向に生える確率は高くなり、逆にそれが大きければ正常な位置・方向に生える確率は低くなります。スペースが足りない場合、その程度で完全に埋もれていたり、一部が顔を出したりします。足りないスペースに出てこようとするため前の歯を押し、歯並びが乱れたりすることもあります。また、完全に生えきらないで一

部が出ていている場合などは親知らずの周りに汚れがたまりやすく炎症を起こしたり、手前の歯との間に物が詰まりやすくなりがちで虫歯を作る原因になったりもします。そのために痛みや不快な症状を生じてしまうことがあります。

親知らずは、出てきたら抜いてしまわなければいけないと思われる方も多いようですが、そうとは限りません。もちろん、お口の中で全く機能していなかったり、親知らずへのダメージが大きすぎたり、予後が良くない場合は抜歯に至ることもあります。しかし、親知らずが重要な機能を果たしている・果たすと予測される場合は積極的に虫歯の治療などを行い保存につとめます。

お口の中全体でその親知らずがどういう状態にあるか、判断・予測することがまず大切です。気になる方は歯医者様に相談をしてみてもいいかもしれません。

